



平成 18 年 6 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 5 月 25 日



上場会社名 株式会社アルバック

（コード番号：6728 東証第一部）

（URL <http://www.ulvac.co.jp/>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 中村 久三

問合せ先責任者 役職・氏名 常務取締役 常見 佳弘 TEL：(0467) 89 - 2033

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無	無
最近連結会計年度からの会計処理の変更の有無	無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無	無

2. 平成 18 年 6 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満は四捨五入）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 6 月期第 3 四半期	150,821	8.4	8,077	24.1	8,061	21.9	3,831	38.4
17 年 6 月期第 3 四半期	139,128	27.1	10,636	136.6	10,319	190.2	6,222	209.9
（参考）17 年 6 月期	196,843	24.7	15,306	80.6	12,448	71.3	7,146	80.8

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 6 月期第 3 四半期	89	30	-	-
17 年 6 月期第 3 四半期	153	95	-	-
（参考）17 年 6 月期	168	65	-	-

（注）売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益の%表示は、対前年同四半期比増減率です。

上記経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等につきましては、添付資料の 4 ページを参照ください。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18 年 6 月期第 3 四半期	265,297	78,036	29.4	1,819	14
17 年 6 月期第 3 四半期	228,431	72,854	31.9	1,698	03
（参考）17 年 6 月期	224,278	73,854	32.9	1,716	12

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 6 月期第 3 四半期	11,829	14,318	21,855	14,628
17 年 6 月期第 3 四半期	10,666	11,440	202	15,832
（参考）17 年 6 月期	18,850	18,296	549	16,866

上記財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等につきましては、添付資料の 5 ページを参照ください。

【参考】

平成 18 年 6 月期の連結業績予想（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

通期の連結業績予想につきましては、平成 18 年 2 月 16 日発表の数値に変更はありません。

（注意事項）

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断しており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の連結業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

【企業集団の状況】

当社グループは、当社、子会社 46 社、関連会社 5 社からなり、真空技術が利用されているさまざまな産業分野に多岐に渡る製品を生産財として提供している真空総合メーカーであります。

事業内容は、真空技術を基盤として、真空装置・機器やサービスを提供する真空関連事業と、真空技術の周辺技術を基盤として、主に材料や表面解析等を提供するその他の事業に区分できます。

各々の事業区分ごとの主要製品は、下表のとおりであります。

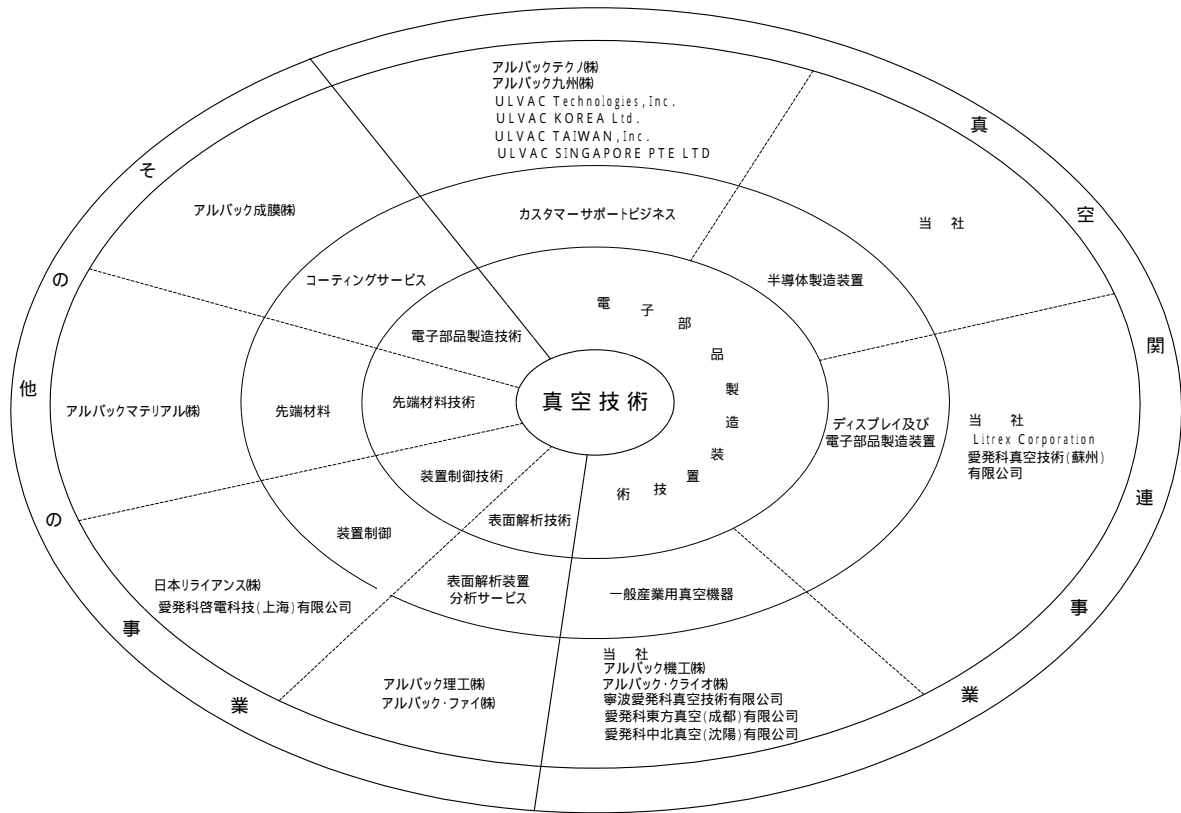
事業区分		主要製品
真空関連事業	ディスプレイ及び電子部品製造装置	スパッタリング装置、プラズマCVD装置、有機EL製造装置、真空蒸着装置、エッチング装置、固体レーザーアニール装置、インクジェットプリンティング装置、スクリーン印刷機、液晶滴下・真空貼り合せ装置、PDP点灯試験器
	半導体製造装置	スパッタリング装置、エッチング装置、イオン注入装置、レジストストリッピング装置、メタルCVD装置、減圧CVD装置、ウェーハ前処理（自然酸化膜除去等）装置、ウェーハパンプ検査装置
	コンポーネント	真空ポンプ（ドライポンプ、油回転ポンプ、メカニカルブースタポンプ、油拡散ポンプ、スパッタイオンポンプ、クライオポンプ、ターボ分子ポンプ）、各種真空計、ヘリウムリークディテクタ、各種ガス分析計、表面形状測定装置、非接触型金属膜厚測定機、各種電源、成膜コントローラ、各種真空バルブ、各種真空部品（導入端子、真空覗き窓、真空用マニピレータ他）、真空搬送ロボット/真空搬送コアシステム
	その他	超高真空装置、カーボンナノチューブ/グラファイトナノファイバーCVD装置、MOCVD装置、超高真空排気装置、スパッタリング装置、MBE装置、イオンビーム応用装置、真空溶解炉、真空熱処理炉、真空焼結炉、真空巻取蒸着装置、蒸着重合装置、真空ろう付炉、凍結真空乾燥装置、真空蒸留装置
その他の事業	スパッタリングターゲット材料、蒸着材料、チタン・タンタル加工品、高融点活性金属（Ta、Nb、W、Mo）表面処理・精密洗浄、超微粒子（ナノメタルインク）、オージェ電子分光分析装置、X線光電子分光分析装置、二次イオン質量分析装置、熱分析・熱物性測定装置、近赤外線イメージ炉応用機器、各種産業機械駆動用制御装置、高電圧インバータ装置、電源再生コンバータ装置、無停電電源装置、非接触測長装置	

また、当社企業集団の主要製品の概要は、次のとおりであります。

主要製品	概要
スパッタリング装置	高真空中で金属やシリサイドの円盤（ターゲット）に、高エネルギーのアルゴン原子をぶつけ、それに叩かれ飛び出してくる金属原子を付着させて成膜する装置。
CVD装置	つくる薄膜の種類に応じて原料をガス状態で供給し、下地膜の表面における化学触媒反応によって膜を堆積させる装置。
エッチング装置	真空中に被エッチング材料を入れ、その材料に合わせてエッチングガスを導入しプラズマ化し、エッチング種が被エッチング材料に吸着されると表面化学反応を起こし、エッチング生成物を排気除去する装置。
真空蒸着装置	真空中で特定の物質を熱し、そこから蒸発する原子や分子をより温度の低い面に凝縮させて、表面に膜を形成する装置。
真空熱処理炉	真空中で各種金属の焼入、ろう付、焼戻、容体化、時効、磁性処理等を行う装置。

以上のような装置により、携帯電話、パーソナルコンピューター、携帯音楽プレイヤー、太陽エネルギー利用機器、光通信デバイス、デジタル家電、薄型テレビ、自動車などの最終製品を構成するディスプレイ及び電子部品などが生み出されております。

当社グループは、装置・機器だけでなく、材料、解析評価、サービスを総合的に「アルバックソリューションズ」として提供することにより、グループとしてのシナジー効果を発揮しております。また、真空装置・機器とプロセス技術を組み合わせた顧客への提案も行っております。アルバックソリューションズを構成する当社及び主な関係会社は、次のとおりであります。



アルバックソリューションズの一環として、カスタマーズサポート(CS)ソリューションズパッケージは、フィールドサービスの他、装置改良改善(CIP)活動、部品提供、成膜材料提供、装置部品再生、洗浄及び表面処理、分析サービス、中古機提供、オペレーティングリースなどの総合サービスを提供しております。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当社グループの主要なお客様であるディスプレイや半導体関連の業界では、薄型（液晶、プラズマ）テレビや携帯音楽プレイヤーなどのデジタル家電の需要増加により、引き続き設備投資が好調に推移いたしました。

当社グループは、このような経営環境に対処するため独創的な新製品をタイミング良く市場に投入し、アルバックソリューションズの推進による積極的な受注活動を行ってまいりました。また、成長する地域である中国、韓国、台湾へ積極的な投資を実施するなど、事業の拡大を行ってまいりました。さらに、お客様からの価格引き下げ要求が継続する中、生産改革第2段階の推進によりコストダウンを図るとともに、諸経費の削減を継続することで固定費の圧縮を進めてまいりました。なお、液晶ディスプレイをはじめとするフラットパネルディスプレイの設備投資の急速な増加や、ガラス基板サイズの大型化に対応するため、今後国内においても生産体制の増強を行ってまいります。

その結果、当第3四半期の業績につきましては、受注高は1,765億93百万円と前年同期比305億71百万円(20.9%)増加し、売上高は1,508億21百万円と前年同期比116億92百万円(8.4%)増加いたしました。当第3四半期の損益につきましては、開発要素の高い第6世代以降の液晶ディスプレイ製造装置立ち上げ時の追加原価発生などにより、十分な利益を確保できませんでした。そのため、経常利益は80億61百万円と前年同期比22億59百万円減少(21.9%)いたしました。なお、当期純利益は38億31百万円となりました。

【真空関連事業】

真空関連事業を品目別にみますと下記のとおりです。

(ディスプレイ及び電子部品製造装置)

韓国、台湾、中国、日本において第5～第7.5世代の液晶ディスプレイやプラズマディスプレイなどの設備投資が積極的に行われ、液晶ディスプレイ用枚葉式スパッタリング装置「SMD シリーズ」、カラーフィルター用インライン式スパッタリング装置「SDP シリーズ」、プラズマディスプレイパネル用インライン式MgO真空蒸着装置「ECH シリーズ」などの売上が好調でした。また、大型基板に対応した新型の縦型枚葉式スパッタリング装置の受注が好調でした。電子部品製造装置ではパワーデバイス用のスパッタリング装置などの受注や売上が好調でした。

(半導体製造装置)

デジタル家電関連では、携帯音楽プレイヤーやデジタルカメラなどに使用されるフラッシュメモリーや発光ダイオード(LED)などの化合物半導体、ハイブリッドカーや家電用のパワーデバイスなどにおける設備投資が積極的に行われました。これにより、8インチウエーハ用スパッタリング装置「CERAUS シリーズ」、生産性を向上した300mmウエーハ用スパッタリング装置「ENTRON™-EX シリーズ」やエッチング装置「NE シリーズ」、バッチタイプ自然酸化膜除去装置「RISE シリーズ」などの受注や売上が好調でした。

(コンポーネント)

主に液晶ディスプレイなどのフラットパネルディスプレイ製造装置向けにドライポンプの受注が好調でした。そのほか、電子部品や自動車などの用途向けの真空ポンプ、自動車業界を中心に真空計などの計測器関連及びフラットパネルディスプレイなどの成膜工程での膜厚測定器の受注も好調でした。

(その他)

一般産業用としてハイブリッドカー向けをはじめとする希土類磁石製造用の真空熱処理炉や真空溶解炉の受注や売上が堅調でした。

その結果、真空関連事業の受注高は1,548億70百万円、受注残高は1,158億58百万円、売上高は1,292億47百万円となりました。また、営業利益は66億43百万円となりました。

【その他の事業】

その他の事業につきましては、アルバックソリューションズを生かしたグループ一体となった積極的な受注活動を行いました。韓国、台湾、日本でメタルを中心とした液晶ディスプレイ及び半導体関連用スパッタリングターゲット材料や部品洗浄などの材料ビジネスの受注や売上が好調でした。また、自動車関連向けの制御システムの引き合いが堅調でした。

その結果、受注高は217億22百万円、受注残高は56億31百万円、売上高は215億74百万円となりました。また、営業利益は13億51百万円となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当四半期の財政状態の変動状況

総資産は、当中間連結会計期間末に比べ 197 億 96 百万円増加して、2,652 億 97 百万円となりました。受取手形及び売掛金が 90 億 31 百万円、たな卸資産が 85 億 63 百万円増加したことが要因です。

株主資本は、当中間連結会計期間末に比べ、27 億 69 百万円増加して、780 億 36 百万円となりました。要因は、利益剰余金等の増加によります。

以上により、株主資本比率は 29.4%となりました。

当四半期のキャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益と減価償却費のプラス要因に対し、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加などによるマイナス要因もあり、118 億 29 百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券、有形・無形固定資産の取得などにより、143 億 18 百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの支出に対応し、コマーシャルペーパーの発行、短期借入金及び長期借入金により、354 億 51 百万円資金調達しました。長期借入金の返済、社債の償還などによる支出が 124 億 25 百万円あり、財務活動によるキャッシュ・フローは、218 億 55 百万円の収入となりました。

以上により、現金及び現金同等物は、当中間連結会計期間末に比べて 67 百万円増加し、146 億 28 百万円となりました。

【四半期連結貸借対照表】

区分	当四半期 (平成18年6月期第3四半期末)		当中間連結会計期間 (平成17年12月末)		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金		15,301		15,262	
2. 受取手形及び売掛金		82,920		73,889	
3. たな卸資産		75,119		66,556	
4. 繰延税金資産		4,142		4,089	
5. その他		3,346		3,588	
6. 貸倒引当金		242		235	
合計		180,586	68.1	163,148	66.5
固定資産					
(1)有形固定資産					
1. 建物及び構築物	43,629		43,278		
減価償却累計額	19,321	24,308	18,814	24,464	
2. 機械装置及び運搬具	40,917		41,109		
減価償却累計額	23,788	17,129	22,519	18,590	
3. 工具器具及び備品	10,570		10,443		
減価償却累計額	8,330	2,240	8,101	2,341	
4. 土地		8,965		7,520	
5. 建設仮勘定		4,767		3,331	
計		57,409	21.6	56,247	22.9
(2)無形固定資産					
1. 連結調整勘定		2,278		2,377	
2. その他		3,364		3,381	
計		5,642	2.1	5,757	2.3
(3)投資その他の資産					
1. 投資有価証券		14,743		13,774	
2. 繰延税金資産		3,666		3,616	
3. 差入保証金		1,348		1,341	
4. その他		2,019		1,732	
5. 貸倒引当金		116		116	
計		21,659	8.2	20,348	8.3
合計		84,710	31.9	82,352	33.5
資産合計		265,297	100.0	245,500	100.0

区分	当四半期 (平成18年6月期第3四半期末)		当中間連結会計期間 (平成17年12月末)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	62,323		60,121	
2. 短期借入金	41,080		32,160	
3. コマーシャルペーパー	10,000		10,000	
4. 未払法人税等	4,591		2,587	
5. 繰延税金負債	0		1	
6. 前受金	16,033		14,654	
7. 賞与引当金	1,220		1,350	
8. 製品保証引当金	2,804		2,727	
9. その他	8,413		9,044	
合計	146,465	55.2	132,643	54.0
固定負債				
1. 社債	200		200	
2. 長期借入金	24,305		21,486	
3. 繰延税金負債	0		1	
4. 退職給付引当金	9,978		9,602	
5. 役員退職慰労引当金	1,025		972	
6. その他	529		667	
合計	36,037	13.6	32,926	13.4
負債合計	182,503	68.8	165,569	67.4
(少数株主持分)				
少数株主持分	4,758	1.8	4,664	1.9

区分	当四半期 (平成18年6月期第3四半期末)		当中間会計期間 (平成17年12月末)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資本の部)				
資本金	13,468	5.1	13,468	5.5
資本剰余金	14,695	5.5	14,695	6.0
利益剰余金	47,371	17.9	45,054	18.4
その他有価証券評価差額金	1,321	0.5	1,114	0.4
為替換算調整勘定	1,186	0.4	942	0.4
自己株式	5	0.0	5	0.0
資本合計	78,036	29.4	75,267	30.7
負債、少数株主持分及び資本合計	265,297	100.0	245,500	100.0

【四半期連結損益計算書】

区分	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)			前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)		
	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
売上高		150,821	100.0		139,128	100.0
売上原価		123,182	81.7		109,966	79.0
売上総利益		27,639	18.3		29,162	21.0
販売費及び一般管理費						
1. 販売費	7,475			7,019		
2. 一般管理費	12,087	19,562	13.0	11,507	18,526	13.4
営業利益		8,077	5.3		10,636	7.6
営業外収益						
1. 受取利息	52			23		
2. 受取配当金	96			79		
3. 受取手数料	207			212		
4. 受取賃貸料	84			71		
5. 持分法による投資利益	36			41		
6. 為替差益	101			13		
7. ロイヤルティー収入	10			141		
8. その他	428	1,014	0.7	326	906	0.7
営業外費用						
1. 支払利息	557			630		
2. 賃貸資産経費	150			103		
3. たな卸資産評価損	75			137		
4. たな卸資産除却損	37			39		
5. その他	212	1,030	0.7	312	1,222	0.9
経常利益		8,061	5.3		10,319	7.4

区分	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)		百分比 (%)	前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)		百分比 (%)
	金額(百万円)			金額(百万円)		
特別利益						
1. 固定資産売却益	6			1		
2. 貸倒引当金戻入額	96			49		
3. 投資有価証券売却益	517			-		
4. 補助金受入益	14			50		
5. 持分変動利益	15			34		
6. その他	0	647	0.4	0	134	0.1
特別損失						
1. 固定資産除却損	1			-		
2. 投資有価証券評価損	480			65		
3. 固定資産売却損	-			12		
4. その他	0	481	0.3	-	77	0.0
税金等調整前四半期純利益		8,227	5.4		10,377	7.5
法人税、住民税及び事業税	4,293			4,204		
法人税等調整額	232	4,061	2.7	567	3,637	2.6
少数株主利益		335	0.2		518	0.4
四半期純利益		3,831	2.5		6,222	4.5

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる事項】

1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社の数 23 社
- (2) 非連結子会社の数 23 社・・・当四半期において、精細微科技股份有限公司、アルバックオートメーション台湾(株)、愛発科(中国)投資有限公司の3社を非連結子会社といたしました。
- (3) 非連結子会社について連結の範囲から除いた理由・・・非連結子会社は、いずれも小規模会社であり、総資産、売上高、四半期純損益、利益剰余金等の観点からみて重要な影響を及ぼしておりません。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用関連会社の数 3 社・・・持分法を適用していない非連結子会社(23 社)及び関連会社(2 社)は、いずれも小規模会社であり、四半期純損益、利益剰余金等の観点からみて影響が軽微であり、重要性がないため持分法の適用から除外しております。

3. 連結子会社の決算日については、中間連結会計期間に準じて作成しております。

【会計処理基準に関する事項】

1. 重要な資産の評価基準及び評価方法

- (1) たな卸資産 …… 主として個別法による原価法によっております。
- (2) 有価証券 …… 満期保有目的の債権は償却原価法(定額法)、その他有価証券は、時価のあるものは四半期末日の市場価格等に基づく時価法、時価のないものは移動平均法による原価法。
- (3) デリバティブ …… 時価法。

2. 減価償却資産の減価償却方法

- (1) 定率法その他、当社の研究開発部門・富士裾野工場及び賃貸用有形固定資産は定額法。
- (2) 平成 10 年 4 月以降に取得した建物は定額法。
- (3) 少額資産は 3 年均等償却。
- (4) 無形固定資産は定額法。

3. 重要な引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 …… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金 …… 従業員に支給する賞与の当四半期負担分として、支給対象期間に基づく支給見込額を計上しております。
- (3) 製品保証引当金 …… 販売された製品の保証に伴う費用の支出に備えるため設定したもので、過去の発生実績率に基づいて計上しております。
- (4) 退職給付引当金等 …… 従業員の退職給付に備えるため、当四半期末において発生していると認められる額を計上しております。役員退職慰労引当金については、年間計上見込額の当四半期分を見込んで計上しております。

4. 外貨建金銭債権債務は、中間連結会計期間末に準じて処理しております。

5. 消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。

【セグメント情報】

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

科目	当四半期（平成18年6月期第3四半期）				
	真空関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	129,247	21,574	150,821	-	150,821
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	333	4,047	4,381	(4,381)	-
計	129,580	25,621	155,201	(4,381)	150,821
営業費用	122,937	24,270	147,207	(4,463)	142,744
営業利益又は営業損失()	6,643	1,351	7,994	82	8,077

科目	前年同四半期（平成17年6月期第3四半期）				
	真空関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	120,563	18,566	139,128	-	139,128
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	196	3,601	3,797	(3,797)	-
計	120,759	22,167	142,925	(3,797)	139,128
営業費用	111,101	21,252	132,353	(3,860)	128,493
営業利益又は営業損失()	9,658	914	10,572	63	10,636

(注) 1. 事業の区分は、主要製品の区分によっております。

2. 各事業区分の主要製品は、企業集団の状況の記載と同様であります。

平成 18 年 6 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）補足資料

【受注及び販売の状況】

(1) 受注高及び受注残高

受注高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)	
	販売高	割合	販売高	割合
真空関連事業	154,870		128,259	
その他の事業	21,722		17,762	
合 計	176,593		146,022	

受注残高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)	
	販売高	割合	販売高	割合
真空関連事業	115,858		83,904	
その他の事業	5,631		5,637	
合 計	121,489		89,541	

(注) 消費税等は含んでおりません。

(2) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)	
	販売高	割合	販売高	割合
真空関連事業	129,247		120,563	
その他の事業	21,574		18,566	
合 計	150,821		139,128	

(注) 1. 消費税等は含んでおりません。

2. 真空関連事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合

(単位：百万円)

品目	当四半期 (平成18年6月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年6月期第3四半期)	
	販売高	割合	販売高	割合
ディスプレイ及び電子部品 製造装置	76,373	59.1 %	75,089	62.3 %
半導体製造装置	21,731	16.8	19,263	16.0
コンポーネント	20,964	16.2	19,271	16.0
その他	10,179	7.9	6,940	5.7
計	129,247	100.0	120,563	100.0

(注) コンポーネントは、真空ポンプ、真空計測器、部品・電源・ソフトであります。